

平成29年度からの大阪大学における入学者選抜（一般入試）について

平成27年3月
大 阪 大 学

平成29年度入学者選抜から、一般入試の実施方法を下記のとおり変更します。

1. 後期日程

(1) 全学部

募集を停止します。

(理学部、工学部及び基礎工学部の後期日程は、既に募集を停止しています。)

(2) 医学部保健学科

看護学専攻の専門学科卒業生入試を廃止します。

2. 前期日程

(1) 全学部

募集人員を変更します。(別途発表の「大阪大学世界適塾入試」をご参照ください。)

(2) 外国語学部

前記「2. 前期日程(1) 全学部」に加え、第1段階選抜の実施方法を変更します。

○平成28年度入学者選抜まで

入学志願者数が募集人員に対して約3倍(注1)を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。(注2)



○平成29年度入学者選抜から

入学志願者数が募集人員に対して約2倍(注1)を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。(注2)

(注1) 学部全体の募集人員で上記倍率を超えた場合で、かつ、専攻の募集人員で上記倍率を超えた専攻のみ実施します。

(注2) 大学入試センター試験の素点の成績を用います。なお、大学入試センター試験の外国語において、英語(筆記200点満点、リスニング50点満点)を選択した場合は、次のとおり200点満点に圧縮した成績を用います。

筆記150点満点 リスニング50点満点 計200点満点

聴覚障害等によりリスニングを免除された者及び英語以外の外国語を選択した場合は、筆記の成績を圧縮せずにそのまま利用します。

(3) 理学部

前記「2. 前期日程(1) 全学部」に加え、次のとおり変更します。

①挑戦枠を廃止します。

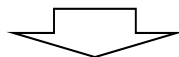
なお、世界適塾入試において世界適塾AO入試(挑戦型)を新たに実施します。(別途発表の「大阪大学世界適塾入試」をご参照ください。)

②大学入試センター試験の配点を、次のとおり変更します。

なお、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の配点は、変更ありません。

○平成28年度入学者選抜まで（大学入試センター試験の配点）

	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
大学入試 センター試験	150	50 (注1)		(注2)	(注2)	50 (注3)	250



○平成29年度入学者選抜から（大学入試センター試験の配点）

	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
大学入試 センター試験	100	50 (注1)		50	50	50 (注3)	300

- (注1) 大学入試センター試験で課す地理歴史及び公民から選択した1科目の配点です。
 (注2) 大学入試センター試験で課す数学及び理科の成績は第1段階選抜のみに利用し、第2段階選抜の合格者判定には利用しません。
 (注3) 大学入試センター試験の外国語において、英語（筆記200点満点、リスニング50点満点）を選択した場合は、次のとおり200点満点に圧縮してから上記の点に換算します。

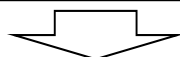
筆記160点満点 リスニング40点満点 計200点満点
 聴覚障害等によりリスニングを免除された者及び英語以外の外国語を選択した場合は、筆記の成績を圧縮せずにそのまま利用します。

(4) 医学部医学科

前記「2. 前期日程（1）全学部」に加え、第1段階選抜の実施方法を変更します。

○平成28年度入学者選抜まで

指定する大学入試センター試験の成績（注）の総点が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を第1段階選抜合格者とします。
 入学志願者数に関わらず、上記得点に満たない場合は、第1段階選抜不合格とします。



○平成29年度入学者選抜から

指定する大学入試センター試験の成績（注）の総点が900点満点中720点以上の者のうちから、募集人員の約2.6倍までの者を第1段階選抜合格者とします。
 入学志願者数に関わらず、上記得点に満たない場合は、第1段階選抜不合格とします。

- (注) 大学入試センター試験の素点の成績を用います。なお、大学入試センター試験の外国語において、英語（筆記200点満点、リスニング50点満点）を選択した場合は、次のとおり200点満点に圧縮した成績を用います。

筆記180点満点 リスニング20点満点 計200点満点
 聴覚障害等によりリスニングを免除された者及び英語以外の外国語を選択した場合は、筆記の成績を圧縮せずにそのまま利用します。